

2010年秋冬 定番台帳 迎春【置物】 特別パターン



11 招福還土寿々卯(土鈴)

税込 ¥368 (本体¥350)
200



13 招福還土寿々卯(金銀土鈴)小手籠付

税込 ¥840 (本体¥800)
100



14 招福還土卯

税込 ¥1,260 (本体¥1,200)
40



15 招福還土卯(紅白)

税込 ¥1,575 (本体¥1,500)
40

170 特A (初回数量:10)

170 特A (初回数量:10)

170 特A (初回数量:5)

170 特A (初回数量:5)

還土千文®

毎年、二月十一日 土の刻 薬師窯の伝統行事「干支供養」が執り行われます。

役目を終えた干支は感謝の意を込めて土に還す日です。その際供養した供養し元の土で還す日です。その際供養した土を再度原土として再生

復活させたものか「還土千文」です。この意識が高まるなか、力強い再生の願いを込め「土の置き物」を

限りある資源や環境を大切にすることを、持ちと、

皆様にとって幸多き一年でありますように、

お祈りいたしております。

※供養した干支置物を含んだ還土土(リサイクル原料)を約50%使用しています。

薬師窯。



仮



土から還った干支置物

立春明けの二月十一日(土の日)十一時(土の刻)に
お役の済んだ干支置物に感謝を込め、ねんごろに弔い、精
を抜いて土に還し再生した干支の置物です。

毎年700万ケもの干支の置物を生産販売している干支置物の代名詞「薬師窯」に
環境にも優しく、景気回復を願う「復活の虎置物」を限定販売致します。



■昨年の干支供養の様子

精を抜いた干支置物を
宝泉寺ご住職の手により、干支割りをして
「土に還す」儀式を執り行います。



■現在の干支塚の様子

皆様から寄せられた干支置物が
干支塚の前から梯子づたいに入口まで
たくさん並んでおります。



薬師窯。

平成13年 日本記念日協会により2月11日は「干支供養の日」として登録されました。